

2012年1月26日

質疑応答1

①スマートフォンのデータARPUについて、機変前と機変後で約1,500円上昇したとのことだが、毎月割は1,800円程度で設定されており、データARPUの上昇で毎月割分を補えない構造になっているのではないかと。また来期以降もこの傾向が続くのか？

⇒現状は、データARRUの伸びに比べ毎月割の金額が大きい。ただデータARPUの上昇分の範囲内での設定を意識しており、新機種などでは1,500円の範囲内での毎月割の設定も行っている。来期以降もデータARPUの上昇分を目安とした設定を行っていく。

②コミッションは第2四半期と比べて若干上がっているが、要因は何か？

⇒当社では毎月割と一時金割引をミックスしており、ミックスのバランス等から若干コミッションの方が上がっていると見ている。またマーケットをにらみ、競合との兼ね合いから値下げを行ったこと及び非トライバンド対応端末の機種変更促進の影響もある。

③固定通信について、黒字化のタイミングは前回発表と変化はあるか？

⇒黒字化のタイミングは前回発表の通りで変化はないが、今回のエリア拡大による設備投資により期ずれすることも想定している。

④配当について、現在の水準以上の利益を確保できた場合、配当も連動して上昇するという理解でよいのか？

⇒その理解で良い。今後も株主には配当金で還元する姿勢は変わらない。

質疑応答2

①来期の移動通信事業の売上イメージ、全体感は？

⇒非トライバンド対応端末の機種変更促進が終息に向かうため、その分、端末販売台数は減少すると見ているがスマートフォンへのシフトとARPUの下げ止まりのタイミングも絡んでくる。ただ、足もとの顧客獲得が好調であるため大きくは崩れないと見ている。

②3M戦略について、売上におけるインパクトと費用におけるインパクトをどう見ているか？

⇒3M戦略は1月に発表されおり、来年度に影響するが、今まさに計画を策定中である。FTTHと移動通信の相乗効果がどう出るか、良い、普通、悪いの3つのケースを念頭に置いて試算しており、2、3月にかけて決めていく段階にある。

質疑応答3

①4Qの純増8,600は前年同期並みとなるが、これだけ販促を行って昨年並みに留まるということか？

⇒一番のマーケットは新高校生の年代であるが、マーケット調査をしたところ携帯電話の保有率が結

構高くなってきており、それを反映した数字である。

②音声ARPUを下方修正しているが要因は？

⇒スマートフォンの販売が当初予想を大きく超えたことで、毎月割の影響が増加したことが要因の一つである。

③FTTHの純増を下方修正したが、今後の改善点は？

⇒マーケットからすると、獲得する力はかなりついてきている。目標達成に向けては、auショップスタッフの固定通信販売のスキルアップが必要で研修を強化していく。また3M戦略の開始が追い風となり来期に向けては良い方向に進むと見ている。